

皆さん、明けましておめでとうございます。いいお正月を迎えることができましたか。今年の干支は辰ですが、辰年は龍のように「天に昇る」勢いで成長していくことができる年だと言われています。登龍門という言葉があるように、この一年間、皆さんが様々な努力を重ね、成功へといたる関門を次々と突破して、天にも昇るほどの成長をみせてくれることを期待しています。

さて、私は、二学期の終業式で、「チャレンジしたいことや成功したいことがある場合、『きっと〇〇できる』『〇〇に合格する』というポジティブな言葉や、頭の中に描いている夢を何度も口に出して唱え、その夢を叶えるために努力を続け、挑戦していきましょう。」と言いました。それを実行することで、皆さんがキラキラと輝けると信じているからです。

先日の第100回箱根駅伝では、青山学院大学が優勝候補筆頭の駒澤大学に大差をつけて総合優勝を成し遂げました。昨年の箱根駅伝で3位だった青山学院大学の原監督は「負けてたまるか大作戦」を発令し、この一年、選手一人一人が「駒澤に勝つ、箱根を制する」を合言葉に、やるべきことを肅々かつ淡々と行い、調整してきたといいます。夢を実現するのはそう簡単なことではありません。でも、私が今からいう三つのことを、段階を追ってしっかり行えば、夢は必ず叶います。よく聞いてください。

第一に、「目標」を決めてください。なるべく具体的な目標がいいでしょう。「蒔かない種は生えない」と言われるように、学習でも部活動でも種を蒔かなければ何も実りません。目標を決めることは、自分の夢の花を咲かせる種を蒔くことなのです。

第二に、目標に向かって「やるべきこと」を決めましょう。いつ、どのようにやるかという順番や方法もよく考えて詳しく決める必要があります。

そして、最後に、これが一番のポイントなのですが、自分の決めた「目標」を叶えるために「やるべきこと」を「実行」に移しましょう。何事もスタートには大きな力が必要です。ニュートンの運動の法則から、自転車でも、100m走でも、スタート時にはとても大きな力が必要ですが、走り出すとそれほど力はいらないのです。あなたの夢を実現するために、「今ここから」走り始めてください。

最後になりましたが、この正月、日本の各地で地震、津波、火災、事故が次々と起こりました。私たちの住んでいる地域でも大きな地震が起こる可能性があることは、皆さんの知っている通りです。この機会にいざというときにどうするのか、様々なケースについて家族と話し合いをしておきましょう。避難する場所や方法など、具体的にしっかりと確認したいものです。災害はいつ起こるかわかりません。普段の準備や確認が、必ず後で役立ちます。まさに「備えあれば憂いなし」なのです。そして、災害にあったときには、自分の命は自分で守ることが大前提ではありますが、同時に怪我をした人などがある場合には、そばにいる皆さんが「最初の救急隊」にもなるのだということを覚えていてください。その際には、勇気を持って行動してくれることを願っています。皆さんが地域の一員としての自覚を持ち、さまざまな場面で今後も活躍してくれることを祈って、私の式辞とします。